

記載例

別記第1号様式（第4条第1項関係）

現在の住所、本籍、自宅・勤務先の電話番号、申込者の氏名を記入

積丹町営住宅入居申込書								
抽選番号								
申込者	現住所	積丹郡積丹町大字美国町字船澗48番地					フリガナ 氏名	シャコ タン タ ロウ 積丹太郎
	本籍地（国籍）	積丹郡積丹町大字美国町字船澗48番地						
	電話（自宅）	44-2111（会社等）44-2125						
町営住宅に入居する者等	氏名 （個人番号）	続柄	生年月日	職業	勤務先の名称・所在地	勤続年数	年間収入	
	入居者	積丹太郎 (123456789012)	本人	S50・1・1	会社員 (株)〇△□	15年	390万円	
	同居する親族	積丹花子 (234567890123)	妻	S50・2・2	無職			
		積丹一郎 (345678901234)	子	H15・3・3	学生			
		()		・				
	別居扶養親族	()		・				
		()		・				
		()		・				
	希望の団地等	団地・地区名	〇〇〇団地		特定目的住宅への入居希望	希望する目的の住宅	希望する・希望しない	
		間取り	3LDK(2階)			特殊事情		
備考		入居希望の団地名・間取り・階数を記入						

注 太枠の部分に記入してください。
(収入計算表)

1 所得	円＝	円	3 公営住宅法に定める収入月額
	円＝	円	所得金額： 円
	円＝	円	－ 控除金額： 円
所得合計		円	収入年額： 円
2 控除額			収入月額： <input type="text"/> 円
同居・扶養控除額	円× 人＝	円	4 年度入居収入基準
老人扶養控除額	円× 人＝	円	円
特定扶養親族控除額	円× 人＝	円	
障害者控除額	円× 人＝	円	5 入居収入基準 適合・不適合
特別障害者控除額	円× 人＝	円	
老年者控除額	円× 人＝	円	
寡婦（夫）控除額	円× 人＝	円	
控除額合計		円	審査者名： <input type="text"/>

現在の住宅の困窮状況を記入
 ・該当する箇所に○を付けてください。
 ・入居希望する理由を9の()の中に具体的に記入して下さい。

次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに○をつけてください。

1 現在住宅以外の建物又は場所に居住している。
 2 保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。
 3 他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便がある。
 4 住宅がないため、親族と同居することができない。
 5 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適当な居住状況にある。
 6 自己の責めによらない理由で、家主、貸主などから立退きを要求され、適当な立退き先がない。
 7 住宅がないために勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。
 8 収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。
 9 **○** その他(具体的におかきください。)

(例1)「積丹町内の事業所に勤務することになったが、住む住宅がないため、職場に近い町営住宅を希望する。」など

(例2)「現在、借家を借りているが、この借家を取り壊すことになり、家主から立ち退きを要求されている。」など

現在の住宅の種類

1 **○** 借家 2 同居 3 貸間 4 民間アパート 5 賃貸マンション
 6 寮 7 持ち家 8 町営住宅(団地)
 9 町営以外の公営住宅(営) 10 公団・公社住宅
 11 社宅 12 仮住居 13 その他()

現在の住宅の間取り
 2LDK

現在の住宅の家賃等
 50,000円

現在の住宅の世帯構成
 本人、妻、子

現在住んでいる住宅の種類・間取り・家賃・家族構成を記入

この申込については、次のことを誓約します。

1 この申込書に記入した事項は、すべて事実と相違ありません。
 2 この申請書に偽りの事項があった場合は、町営住宅の入居決定の取消しを受けても異議申し立てしません。
 3 この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ、又は拒絶しません。
 4 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする者() 不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員ではありません。

申込日・氏名を記入
 令和〇〇年〇〇月〇〇日

積丹町長 松井秀紀 様

申込者氏名 積丹太郎 **印**

申込日・氏名を記入
 令和〇〇年〇〇月〇〇日
 申込者氏名 積丹太郎 **印**

〈処理欄〉

当落	
団地	
住戸	

印鑑を必ず押印
 ※シャチハタ不可

受付印